

■岡田資 陸軍軍人。不屈の智将として慕われ、深くB級戦犯となって刑死した。

おかだたすく

帝国議会始・1890＝ 鳥取県で生まれる。

日清戦争始・1894＝ 4歳：

Bushidou・・・1899＝ 9歳：

日露戦争終・1905＝15歳：

鳥取一中を経て、

アヲキ*創刊・1908＝18歳：

陸軍士官学校に入り、

大逆事件判決1911＝21歳： 陸軍士官学校(第23期)を卒業して、歩兵少尉に任官され、歩兵第四十連隊に配属される。

明治天皇没・1912＝22歳：

以後、順調にエリートコースを歩み、

ロシア革命・1917＝27歳：

原敬首相暗殺1921＝31歳：

水平社結成・1922＝32歳： 陸軍大学校(第34期)を卒業して、参謀本部付になる。

治安維持法・1925＝35歳： 駐英大使館付武官補佐官を命じられ、ロンドンに赴任、

円本時代始・1926＝36歳：

金融恐慌・・・1927＝37歳： 歩兵少佐に昇任し、東京に転勤、

共産党事件・1928＝38歳： 陸軍大学校教官、

海軍軍縮条約1930＝40歳： 参謀本部員、秩父宮雍仁親王侍従武官、

満州事変・・・1931＝41歳：

国際連盟脱退1933＝43歳： 教育総監部課員を経て、

芥川直木賞始1935＝45歳： *朝鮮大邱の歩兵第八十連隊長となる。以後、実戦指揮官として敏腕を示すとともに、将兵の心をとらえて、"青年將軍"と慕われるようになって行く。

日中戦争始・1937＝47歳： 日中戦争が始まると、第四師団の参謀長として、満州に進出、

健保+総動員 1938＝48歳： 陸軍少将に昇任し、歩兵第八十旅団長として、武漢三鎮攻略戦に参加して中国軍を撃退、

第二次大戦始1939＝49歳： ソ連軍戦車の威力に対抗しようとする当局に抜擢され、千葉県にあった陸軍戦車学校長に就任、

大政翼賛会・1940＝50歳： 神奈川県にあった日本唯一の戦車製造工廠(相模造兵廠)の廠長に就任すると、そこでも部下の心を掴む。

日米開戦・・・1941＝51歳： *陸軍中將に昇任。機械化部隊の運用と戦車の構造に精通した第一人者となり、

・・・・・・1942＝52歳： 新設の第二戦車師団長に親補され、満州に渡る。

創価学会検挙1943＝53歳： 続いて、新設の軍需省東海北陸監理部長となり、名古屋に赴任。

年金+総武装 1944＝54歳：

敗戦・・・・・・1945＝55歳： *中部地区に編成された第十三方面軍司令官と東海軍管区司令官を兼務して、30万の部下を統率するうち、敗戦となり、予備役に編入され、東海復員監を務めるが、軍事裁判横浜法廷が開廷すると、

新憲法公布・1946＝56歳： 旧日本軍当局の事情聴取を受けた際、正当性を堂々と主張したため、巣鴨拘置所に収容され、

極東裁判決・1948＝58歳： 尋問開始されると、米軍の無差別爆撃の違法性・非人道性を指摘するなど、堂々たる弁論をするが、ともに収容された東海軍の部下たちの命を救うべく、自ら全責任を負うこととし、

三大事件・・・1949＝59歳： B級戦犯として、深く刑死した。